

東部地区(水産)プロジェクト全体評価及び成果指標の達成状況(平成24年度)

達成状況判断基準: 100%以上→「達成」、80%以上100%未満→「概ね達成」、80%未満→「未達成」

NO	プロジェクト	全体評価(総括・検証)	成果指標と達成率					達成状況
			項目名	H24目標	H24実績	単位	達成率	
東部-1	出雲の沿岸漁業活性化プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> 出雲地域の基幹漁業である定置網漁業については、冬場の休漁期対策として、1経営体が兼業種としてワカメ養殖を開始し、現在順調にワカメを収穫している。また、聞き取り調査を通し、定置網の現状を把握することができたほか、既存の定置網漁業の基盤強化への取り組み要望も挙がったことから、今後必要に応じて対応したい。 地域ブランド作り、消費拡大対策としては、「松江イワガキ」のブランド化や「古事記井」開発を始めとして順調に商品開発や地元水産物のPRを進め、認知度向上を図ることが出来た。今後、流通体制の構築や、他の魚種・商品への取り組み拡大も検討したい。 	新たに複合経営に取組む定置網経営体数	1	1	経営体	100%	達成
			地域ブランド作りへの取り組み地区数	3	3	地区	100%	達成
			加工品の開発数	1	2	個	200%	達成
東部-2	藻類養殖振興プロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> フリー配偶体技術について、ワカメに関しては概ね技術は確立。ただし、新規導入者に対しては、技術の定着へ向けて巡回指導の継続が必要と思われる。ハバノリ等の試験養殖については、初の年内収穫に成功したものの、その後、時化により施設が破損。波浪対策を考慮した養殖施設の開発が課題である。 新規着業者は目標数を達成したが、更なる着業者の増加に向けて、養殖技術の安定化、種系管理施設の集約化、付加価値向上による所得の向上など、新規着業しやすい環境の整備が必要である。 	種系管理施設数※1	10	9	地区	111%	達成
			ワカメ養殖業への新規着業者数	2	7	人	350%	達成
東部-3	出雲の豊かな川・湖づくりプロジェクト	<ul style="list-style-type: none"> 神戸川、神西湖ともにアユ、シジミの資源回復事業については、産卵場造成や天然採苗を行うものの、現状の取り組みでは十分な効果が得られないものがあった。今後は、各種調査による実態の把握を行ったうえで、取り組み手法の改善、更には資源管理計画の策定を行う必要がある。 一方で資源の活用として、神戸川では、各種PRイベントなどを通して流域住民の川へ親しむ機会を増やすことができた。また、神西湖では、共販体制が構築され、漁獲量も順調に増加しているが、今後は他産地との差別化を図るなど、販売力強化を進める必要がある。 	(神戸川)遊漁券発行枚数	350	337	枚	96%	概ね達成
			(神戸川)アユ資源回復計画およびシジミ資源管理計画策定数	0	0	計画	—	—
			(神西湖)シジミ漁獲量	120	173	トン	144%	達成

※1 集約することを目標としているため、実績値は目標達成している